

事業所名

ビバーチエ

支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

21 日

法人（事業所）理念		・社会の一般営利団体として、会社を組織し、市場経済の行動基準に基づいて、規範意識を高め、社会構成員の一員として遵法精神に遵う適正なる経営を行うと共に、自己責任の原則の下、企業の社会的責任を果たす					
支援方針		・子ども達が生活していくうえで必要な基本動作の習得、および社会、集団生活に適応できるよう個々人に合った指導、訓練の実施					
営業時間		10 時	0 分	18 時	0 分	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・健康の促進とともに、基本的な生活スキルの習得を目指す ・手作り調理の活動を通して食生活、調理への関心を持ってもらう					
	運動・感覚	・集団での外遊び活動（球技や遊具を用いたルール遊び等）を通して基礎体力、基本的な運動機能の習得を目指す ・季節や天候に応じた過ごし方をスタッフと一緒に考える（更衣、催し物等）					
	認知・行動	・手作り制作活動の実施 →見本を提示することで完成をイメージしやすくし、手順を組み立て完成へと取り組む経験をしてもらう →その中でも色や形、感触を感じてもらい感覚を養う					
	言語コミュニケーション	・一人ひとりの発達段階に応じて対応できるコミュニケーション手段を設定し、お互いに問題なく意思の疎通ができるよう支援する（指差し、カード、サイン等） ・上記にあげた様々な活動を通じ、多岐に渡った分野の言葉に触れてもらう					
	人間関係社会性	・集団生活の中での周囲への適切な言葉がけや距離感、ルールや役割を段階的に学び、社会性を育む →気持ちのコントロールや、切り替える手段を学ぶ →他者に自分を理解してもらえるよう自らを理解し伝える能力を身につける					
家族支援		・その日に取り組んだ内容や様子を保護者にも引き継ぐ →支援中に気になる点がある場合は直ちに保護者に相談、聞き取りを実施 ・家庭環境に応じたレスパイト支援や助言等を行う			移行支援		・就労の際の情報共有や卒業後の居場所を支援、提供 →各関係機関とも情報を共有し、調整する
地域支援・地域連携		・利用者とそのご家族を含めた関係機関との連携を強化し、継続的な支援を実施 ・繋がりのある中で安心して過ごせるように寄り添う			職員の質の向上		・外部研修の実施、月に数回のスタッフミーティングの実施 →子どもの特性に応じた対応や学習、生活に困り感を抱く子どもへの支援方法の検討会を開催
主な行事等		・季節制作（お正月、節分、女子、男子の節句等） ・キャンプ ・ハロウィーン ・クリスマス ・節分 ・夏休みのプール ・各利用者のバースデー会 など					